

## 目 次

はじめに

### 序 章 多文化社会オーストラリアを読み解くために……………1

- 1 多文化社会オーストラリアの現状 1
- 2 本書の趣旨 6
- 3 本書の構成 8
- 4 本書の読み方 12
- 5 本書で用いる用語について 13

## 第 I 部 多文化社会オーストラリアと先住民族

### 第 1 章 1980年代までのオーストラリア先住民の歴史……………17

- 1 オーストラリアの「先住民(族)」の「歴史」を考える 18
- 2 西洋人入植以前の世界 20
- 3 初期のオーストラリア入植 22
- 4 北部への入植, アジア人との接触 25
- 5 「保護・隔離」から「同化」へ——権利回復運動と市民権 27
- 6 差異への尊重, 土地権, 自律 29
- 7 おわりに 31

### 第 2 章 先住民族との「和解」……………33

- 1 白いオーストラリアに黒い歴史あり 34
- 2 「和解」の提起 34
- 3 社会統合の象徴としての「和解」 35
- 4 公式謝罪とネイションへの包摂 38

5	「実用的和解」と格差の是正	40
6	細分化する「自己決定」主体	42
7	「和解」の現状	44
8	おわりに	47
<b>第3章</b>	<b>先住民族政策の展開</b>	<b>49</b>
1	共有した過去, 共有する未来	49
2	植民地の諸政策下で	50
3	各地での保護・隔離政策	51
4	各州での同化・統合政策	53
5	連邦政府の自己決定・自己管理政策	56
6	包摂・介入政策	59
7	おわりに	63
<b>第4章</b>	<b>国際人権法・国際社会とオーストラリア先住民族</b>	<b>65</b>
1	国連宣言と先住民族	65
2	国際人権法と先住民族の権利	67
3	国際人権法とオーストラリア先住民族の権利	70
4	オーストラリアと日本の先住民族運動の交差点	74
5	おわりに	77
<b>第5章</b>	<b>政治的ダイナミズムと遠隔地のアボリジニ</b>	<b>79</b>
1	遠隔地のミッションの始まり	79
2	ガリウインク・ミッション	81
3	戦後から1970年代へ	82
4	アボリジニへの注目	85
5	遠隔地での経験	88
6	おわりに——遠隔地のアボリジニの現代的役割	90

## 第6章 都市の先住民族の社会と文化……………94

- 1 都市先住民研究の背景 94
- 2 先住民の都市移住と初期の都市先住民研究 97
- 3 集団的アイデンティティの形成 98
- 4 アイデンティティの曖昧化 101
- 5 非先住民との連帯と新たなアイデンティティ 104
- 6 おわりに 106

## 第Ⅱ部 多文化社会オーストラリアと移民・難民

### 第7章 白豪主義オーストラリアの生成と発展……………111

- 1 なぜオーストラリアに白人が入植したのか 111
- 2 流刑植民地から一般自治植民地へ 113
- 3 ゴールドラッシュと19世紀後半の植民地発展 115
- 4 白豪主義とオーストラリアの連邦形成 118
- 5 ガリポリ上陸と白豪主義国民国家の完成 124

### 第8章 多文化主義導入と多文化主義社会の形成……………128

- 1 アジア太平洋の白豪主義国家から多文化主義国家へ 128
- 2 多文化主義とは 130
- 3 茨の道を歩む多文化主義 133
- 4 多文化主義解体の始まりと太平洋の囚人流刑時代への回帰? 140
- 5 日常的多文化主義と日常的人種主義の時代へ? 143

### 第9章 移民・難民の受け入れと支援……………145

- 1 移民政策の形成 145
- 2 難民・人道的見地からの受け入れと初期定住支援 146
- 3 家族呼び寄せ移住の抑制 150
- 4 技能移住——供給主導から需要主導へ 151

5	移住者への公的支援 ——メインストリーミングとアウトソーシング	153
6	おわりに	157
<b>第10章</b>	<b>移民・難民問題とオーストラリアの政党政治</b> ……………	<b>159</b>
1	オーストラリア多文化主義の現状	159
2	オーストラリアにおける人種政治——コンセンサスの時代	162
3	ジョン・ハワードの人種政治	166
4	労働党政権の苦悩	170
5	ターンブル政権とワン・ネイションの復活、右派のアイデン ティティ政治	171
6	オーストラリアの今後について、楽観的なまとめ	174
<b>第11章</b>	<b>庇護希望者と国境管理——ボートピープルをめぐる</b> ……………	<b>177</b>
1	オーストラリアへ向かう密航船	177
2	防御、阻止、収容の政策へ	178
3	パシフィック戦略の開始	182
4	パシフィック戦略の中断と再開	185
5	「ストップ・ザ・ボート (Stop the boats)」	188
6	ボートピープルと国家主権	190
7	おわりに	192
<b>第12章</b>	<b>多文化社会オーストラリアの文学</b> ……………	<b>193</b>
1	オーストラリア文学の3つの潮流とその変容	193
2	先住民文学	195
3	移民文学	199
4	難民文学	205
5	おわりに	208

第13章 住宅価格の高騰にみるオーストラリアの経済環境と  
移民政策……………211

- 1 問題の所在 211
- 2 住宅の価格高騰と社会経済的要因 212
- 3 投資家ではない一般住民のおかれた状況 216
- 4 海外からの投資の増大と反発感情の生起 218
- 5 結 論 222

### 第Ⅲ部 多文化社会オーストラリアと日本

第14章 日本人移住の歴史(1)——白豪主義期まで……………227

- 1 帰化第一号の日本人 227
- 2 幕末から明治期の日本人芸人とオーストラリア 228
- 3 出稼ぎ労働者としての日本人渡豪 230
- 4 日本人移民排斥の兆し 232
- 5 1901年オーストラリア連邦結成と白豪主義政策の導入 235
- 6 日豪貿易の拡大と日本人駐在員の増加 237
- 7 太平洋戦争の開戦と日本人強制収容 239
- 8 おわりに代えて 241

第15章 日本人移住の歴史(2)——太平洋戦争後から現在まで……………244

- 1 拡大する日系コミュニティ 245
- 2 オーストラリアの日本人とその統計的特徴 246
- 3 戦後の日本人移住——途絶えた歴史が再開するまで 248
- 4 「ポスト戦後」の日本人移住  
——ライフスタイル移民・結果的な移民 250
- 5 ワーキングホリデーと日系コミュニティ 254
- 6 ジェンダー化する日本人移住者？  
——国際結婚と日本人移住者 255

7 多文化社会の中の日本人移住者 257

第16章 オーストラリア映画・演劇と日本……………260

1 オーストラリアの映画・演劇へのアプローチ 260

2 日本を描いた映画・演劇 262

3 表現と人の交流 269

終章 多文化主義社会のゆくえ……………277

1 多文化主義は「失敗」か「成功」か 277

2 「マスキュラーな」リベラル多文化主義とアラブ・イスラム  
嫌悪 279

3 移民・先住民族政策と新自由主義 281

4 多文化主義・多文化共生とジェンダー 284

5 「分断」を越えて 286

引用・参考文献



Key Word

無主地 (terra nullius) 23／盗まれた世代 (Stolen Generations) 37／包摂・介入  
政策 59／先住民族の権利に関する国際連合宣言 66／ヨス・インディ (Yothu  
Yindi) 89／アボリジニ・アート産業 90／アボリジナリティ 96／ナショナルリズ  
ム 123／多文化共生サイクル 137／ポイント・テスト 151／アクセスと公平  
(Access and Equity) 154／オーストラリアの議会制度 162／オーストラリアの  
選挙制度 167／難民・庇護希望者 (庇護申請者)・ボートピープル 179／多文化  
文学 (Multicultural Writing) 195／オーストラリアンドリームとオーストラリア的  
な生活 217／白豪主義と書き取りテスト 236／ライフスタイル移民・移住者 (life-  
style migrant) 253／翻訳劇 271